

# 教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第8号 R元. 7.30

茨城県教育研修センター  
教科教育課  
☎0296-78-3213 (直通)



## 若手教員〔初任者〕研修講座（小学校（理科）、中学校理科）の振り返り

筑西市立協和中学校  
古田部 祐也 先生



▲R元.6.4 授業参観の様子

古田部先生による中学校第3学年「動滑車を使ったときの仕事の大きさを調べる」の授業を参観しました。グループでの実験を通して、定滑車と動滑車による仕事について考えを深める授業となりました。授業者が大きな実物を使って、演示実験をして導入の工夫している場面があり、受講者にとって大変勉強になりました。

授業後の研究協議では、活発な意見交換が行われました。授業者からもたくさんの助言をいただきました。受講者には、今後の授業に生かしてもらいたいと思います。

### 指導のポイント

学校教育指導方針では、生徒が見通しをもって行う観察・実験の実施が示されています。見通しをもつことや学習を振り返ることは重要です。

2学期は作成した学習指導案を基に授業実践を行います。

### 理科の学習過程のイメージ

自然事象に対する気付き

課題の設定

仮説の設定

検証計画の立案

観察・実験の実施

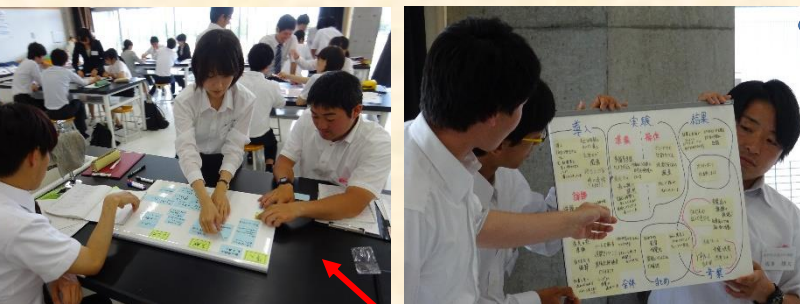
結果の処理

考察・推論

表現・処理

見通し

振り返り



▲研究協議の様子 採用前研修時よりも意見のまとめ方が上手になりました。授業を参観して、参考になったことを自分の授業と比較しながら挙げていき、構造化を行いました。

茨城大学教育学部附属小学校  
横堀 冴子 先生



▲R元.6.7 授業参観の様子



### 小学校：問題解決の力を意識

- 3年 問題を見いだす力
- 4年 予想や仮説を発想する力
- 5年 解決の方法を発想する力
- 6年 より妥当な考えをつくり出す力

横堀先生による小学校第3学年「ゴムや風でものをうごかそう」の授業を参観しました。児童が、自由に実験し、体験から条件を揃えて実験する大切さを自分たちで見付け、次時につなげていく授業でした。児童の気付きを丁寧に拾い上げ、授業を展開していく場面が多く見られ、受講者にとって大変勉強になりました。

### 初任者研修講座 小学校理科観察・実験の様子



▲薬品の調製



▲星座早見盤の使い方



▲顕微鏡の使い方



▲ガスバーナーの使い方

受講者は理科の実験に関して苦手意識があるようです。しかし、児童にとっては楽しみにしている活動です。講座では、安全に留意しながら、物理・化学・生物・地学の基本的な内容の観察、実験を行っています。  
受講者からは、「星座早見盤の使い方がやっと分かった。」「観察、実験はとても楽しい時間だったので、良い準備をして授業に臨みたい。」等の感想が寄せられました。小学校は、5月29日、9月25日、11月20日に6班編制をさらに4グループに分け、少人数で観察、実験の研修を行っていきます。